



# なばり

2011年(平成23年) 2月27日発行

主 内容

- 1 2…市民広報特派員、広報なばりメールサポーター募集
- 3…ひまわり、子どもの予防接種、市の臨時職員募集
- 4…伊賀地域救急輪番表(3月)、まちの話題

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

◎「広報なばりメールサポーター」など読者の皆様のご意見を参考に、今号より、1ページ上段の「主な内容」を見やすくしました。

今年度、ご活躍いただいた市民広報特派員の皆さんに、1年間の感想を伺いました。



前列左から 島田 信人さん、井上 美恵さん  
後列左から 境 宏さん、瀬ヶ口 陽子さん

広報紙には、市民と行政をつなぐ大きな役割があると思います。しかし、広報紙を読んでも、市の意図が伝わらないことや、知りたいと感じた情報が掲載されていないことがあります。市民がどんな情報を望んでいるのかを、市は把握すべきですが、市民の側も特派員としてさまざまな情報を取り上げていくことが大切だと思います。

わたしたちが、特派員として記事を書くことになった際、大変そうだと感じましたが、市の担当者と一緒に書きあげていったので負担感は少なかったですね。わたしたちの周りでは、若い人はあまり広報紙を読んでいないようですが、ぜひ、若い人にも広報紙づくりに参加してほしいと思います。

今後も、広報紙などを通じて、地域のさまざまな課題に関心を持ち、みんなで考えていく必要があるでしょうし、これが、活気ある暮らしやすいまちにつながっていくはず。

このようにして、さまざまな人や団体の得意とする分野や経験、発想などを記事づくりに生かしていただくことで、市民の視点を大切にしながら、より効果的な広報を目指します。また、皆さんの地域での活動を活性化させる一つの手段にしたいと考えています。

■市民参加型の広報紙を目指しています  
市では、より分かりやすく、信頼される広報紙づくりを目指す中で、市民の皆さんにさまざまな方法でご協力いただいています。平成4年度からは、「市民広報特派員制度」により、市民の皆さんに、「広報なばり」の紙面評価や、取材・編集への協力、広報効果調査などにご協力いただいています。昨年7月からは、より幅広い読者から紙面評価をいただくべく、電子メールを活用して、アンケートにお答えいただく「広報なばりメールサポーター制度」を

開始しました。そのほか、地域の皆さんの声を紙面に反映させるなどしています。

■「市民広報特派員」として、市民の立場で伝えてほしい  
広報紙には、暮らしの中での地球温暖化防止活動や、ポイ捨ての

「市民広報特派員」と「広報なばりメールサポーター」を募集します  
市では、「広報紙づくりに「市民の視点」を取り入れることで、より分かりやすく、信頼される広報紙を目指しています。現在、記事の編集などに携わっていただく「市民広報特派員」や、紙面を評価いただく「広報メールサポーター」などとして、市民の皆さんのご協力をいただいています。

今回から、「市民広報特派員」の募集対象に、市民公益活動を行う団体を加え、テーマに沿った記事を提案いただき、市と協働して記事を作成いただくと考えています。また、昨年度スタートした「広報メールサポーター」も同時募集します。

防止、市民公益活動の必要性など、市が一方的に「○○しよう」とお伝えするよりも、市民の立場から広報することで、より説得力があり、また、分かりやすくなると考えられる記事もあります。

市民広報対話室 ☎63-7402

## 広報紙づくりに市民の視点を。



■市民広報特派員として…

「広報なばり」の記事を企画・取材・編集してください。

募集対象 市内で市民公益活動を行っている団体、市内在住・在学・在勤の人

右の3つのテーマからご協力いただける記事を選んで応募ください。

- ① 市民公益活動を活発にすることを目的とした記事(2ページ程度)
- ② 地域の課題(\*)を取り上げた記事(1~2ページ程度)
- ③ 地域の課題を取り上げた記事で、若者(10歳代~20歳代)が主にかかわる記事(1~2ページ程度)

募集の詳細は2ページをご覧ください。



\*「地域の課題」とは、総合計画で取り上げられている施策にかかわるもので、人権・健康福祉・高齢者福祉・障害者福祉・子育て支援・環境保全・省エネ・ごみの減量・防災・防犯・住環境・教育・文化など多岐にわたります。

記事作成の流れ

- ① **記事の企画を考えて応募してください**  
テーマ(1ページ下段に掲載)を選んで、選考基準に沿った記事を考えてください。市への提言を含むような内容も可能です。
- ② **市民広報特派員を市が選考し、委嘱します**
- ③ **特派員と市担当者による企画の打ち合わせ**  
提案内容を元に、市民に何を訴えていくべきか、どのような内容を掲載していくべきかを打ち合わせます。
- ④ **特派員による取材・原稿の作成**  
全てを依頼してしまおうというのではなく、市の広報担当者と一緒に記事をつくっていくイメージです。
- ⑤ **市担当者による校正(紙面レイアウト)**
- ⑥ **特派員と市担当者による掲載記事の打ち合わせ**  
訴えたい内容を効果的に伝えられるかを記事レイアウトを元に検討します。
- ⑦ **庁内合意を経て、広報紙を発行します**

「市民広報特派員」募集の詳細

応募方法・任期など

**募集期間** 2月28日(日)～3月31日(日)  
**応募方法** 市役所2階広報対話室で配布する応募用紙に、記事の企画提案内容など必要事項を書いて、ご応募ください。※応募用紙は、市ホームページから出力可。ファックスでも送付します。  
**定員** 1テーマにつき1団体あるいは1人程度  
**任期** 委嘱の日(4月)から平成24年3月31日まで  
**謝礼** 10,000円 ◎詳しくは市ホームページをご覧ください。

選考基準(抜粋)

**趣旨** 提案や提言を含め、名張市総合計画「理想郷プラン」を進めていくために効果的な内容であるか。  
**独自性** 一般論でなく、市民広報特派員となる個人・団体の属性(専門性、経験、特技など)を生かした独自の視点による企画であるか。  
**地域性** 全国的な課題であっても、これを地域(名張)の問題に引き寄せて訴える内容であるか。また、地域を限定しすぎた課題でないか。  
**公益性** 名張市民の利益になるか。特定の個人・団体・地域の利益が主となる記事でないか。 など

■ 広報なばりメールサポーターとして…

「広報なばり」の記事を評価してください。

「広報なばり」が、どのように皆さんに読まれているのか、また、どんな記事が必要とされているのかを知るために、市では、電子メールを使った「広報なばり」のモニターを募集します。登録者には、電子メールを活用し、「広報なばり」に関するアンケートを配信します。アンケートは、記事が分かりやすかったか、分かりにくかったかーなど簡単なものが中心です。



「広報なばりメールサポーター」  
イメージキャラクター  
\*メルサポ大使。

募集対象 市内在住で中学生以上の人 ※市議会議員、市職員を除く

☎ 広報対話室 ☎ 63-7402

登録方法

①パソコンや携帯電話で市ホームページをご覧ください。注意事項を確認後、**3月15日(火)までに**、市ホームページに記載の登録用メールアドレスに電子メールを送ってください。

携帯電話端末で携帯版ホームページのURL →  
が読み取れます



※登録やアンケートへの回答は電子メールとインターネット接続環境が必要です(携帯電話端末も可)。また、通信にかかる費用はご負担ください。

②登録フォームのURLを記載した電子メールが自動返信されますので、接続いただき、必要事項を入力してください。

◆以上で登録は完了です。なお、**定員は50人です。定員に達すると、登録受付を終了します。**

謝礼

1,000円分の図書券

◆アンケートは広報なばり4月1週号以降、発行号ごとの意見聴取や記事作成前の意識調査など、50回程度。任期は、平成24年3月末までとなります。その間、**アンケートに半数以上お答えいただいた皆さんにお渡しします。**

平成22年度メールサポーターの皆さんの声

- ▼広報紙をしっかりと読むようになり、地域や市政に興味が持てました。
- ▼自分が気付かなかった問題にも目を向けるようになりました。
- ▼一緒に名張市のことを考えている感じがして、やりがいがありました。
- ▼自分の意見が広報紙に反映され、少しでも名張の役に立てたんだと実感。
- ▼多くの人がサポーターになり、市政に意見を出せるようになればいいですね。
- ▼広報紙に取り上げる内容を広く市民から聴取できれば、関心も高まりそう。
- ▼例えば、救急車有料化の是非などテーマに対する投票をしてみたい。
- ▼メールサポーターを集めて、生の声を聴く場を設けることも必要です。

「広報なばり」昨年10-3号が三重県広報コンクールで14年ぶりの特選!

地域での若者の活動を取り上げた特集や「市民広報特派員レポート」を掲載した昨年の「広報なばり」10-3号が、三重県広報コンクールで14年ぶりとなる特選に選ばれました。評価されたのは、「特集の着眼点が斬新で、「若者魂がまちを熱くする!」というタイトルどおり、熱い気持ちが伝わってくる」「市民の言葉を取り入れ、記事の説得力が増

している」といった点でした。この号は、全国広報コンクールでの審査を受けることとなりますが、今後も市民の皆さんのご協力をいただきながら「広報なばり」を編集していく中で、皆さんに愛され、市政と暮らしをしっかりと結び情報紙を目指します。なお、犬の殺処分現場をご紹介した昨年の9-3号も写真部門で入選を果たしました。



広報なばり各号へのアンケート結果は市ホームページで公開中です。



**獣害にお悩みの方はぜひご参加ください**  
**獣害対策研修会**

☎ 農林振興室 ☎ 63-7625

日時 3月13日(日)午前10時～正午  
 場所 勤労者福祉会館(夏見)

○参加無料。申込不要  
 内容/講師 ▼「名張サルA・B群の生態調査報告について」/山田 彩さん(近畿中国四国農業研究センター)

▼「村の獣害対策(仮称)」/百地 三喜生さん ▼「集落ぐるみの獣害対策」/山端 直人さん(三重県農業研究所 主任研究員)  
 主催 宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会

「願いをこめて」

「今年一年、どんな年にしたいですか?漢字一文字で表すと?」という司会者の質問に、ゲストが墨色も鮮やかに漢字一文字を披露して。正月のテレビ番組などでよく見かけた光景です。

漢字一文字にさまざまな思いや願いを込める姿に、ふと、20年近く前の出来事、わが子の命名の時のことが思い出されました。

初めての子は男の子でした。病室の妻の枕元で「よしっ。長男、跡取りにふさわしい名前にせんと」と命名関係の本を手に気負い込むわたし。

「跡取りにふさわしい名前って?二男の名前とどこが違うの?」と妻。わたしは「二男や三男は自由のびのびやればいいけれど、長男はそういうわけにはいかないと思う。やっぱりこの家のことをしっかり守ってもらわないといけないと思う。この子の名前にはそんな気持ちを込めたい」と答えました。

妻は「気持ちにはわからないでもないけれど、何か束縛しているみたい。名前を考えるのに一番大切なのは、この子が誕生したことへの感謝と、この子の人生が幸せであるように心から願う気持ちだと思う。わたしはこの子に自由にのびのびと生きて欲しいって心から願っている」と言いました。口調は



～人権尊重をくらしのなかに～  
ご意見・ご感想は人権啓発室(☎63-7909)へ

や三男は自由のびのびやればいいけれど、長男はそういうわけにはいかない一家のことをしっかり守って」というわたしの考え方は「親の願い」とはいえ、長男であることを理由に、彼の生き方を束縛するものといわれても仕方がありません。その日、妻と二人で子どもの名前について、不思議なくらい素直な気持ちで話し合いました。時は過ぎて、彼が小学校に入學する少し前、わたしと妻に尋ねました。

「ぼくの名前って、どんな意味があるの?」  
わたしは胸を張って答えました。「天空を自由にのびのび飛び回るように生きてほしい」という父さんと母さんの気持ちがこめられてるんですよ」



穏やかでしたが、その表情は母親としての優しさや強さに満ちているように見えました。

わたしは不意を突かれた様になりました。わたしもこの子の幸せを心から願っていましたし、その気持ちにうそはありませんでした。でも、妻が言ったように「二男

予防接種 3月1日(火)～7日(日)は子ども予防接種週間

「子ども予防接種週間」期間中は土曜日でも予防接種を行っている医療機関があります。詳しくは、問い合わせ先へ ☎健康支援室 ☎63-6970

Table with columns: 定期の予防接種, 接種回数, 対象年齢. Rows include BCG, 三種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳) 1期, etc.

◎0歳から4歳までの乳幼児へのヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン接種の公費負担が2月から始まっています。詳しくは問い合わせ先へ  
◎日本脳炎予防接種は平成17年に厚生労働省より積極的な勧奨は行わない勧告がありましたが、9歳～13歳未満の人で、1期(3回がまだの人)と2期の接種が新しい日本脳炎ワクチンで可能となりました。

まちかど 毎朝の体操は元気の源! 「桔梗が丘体操会」参加者募集

日時 3月1日(火)～11月30日(木) 毎日午前6時30分開場 ※雨天中止  
場所 桔梗が丘小学校運動場 ※申込不要。直接会場へ  
内容 名張市民の歌「あなたとわたし」を中心にラジオ体操、名張バリバリ体操など ☎桔梗が丘体操会(小坂) ☎65-2336

全国から集う若者たちと「里山」を体感する3日間 第3回 青年里山フォーラム2011 in 赤目の森

日程 3月19日(土)～21日(日) (2泊3日)  
場所 赤目の里山、岐阜県赤沢自然休養林ほか  
内容 里山の散策や保全作業体験、森本英香さん(環境省大臣官房審議官)による基調講演、活動事例紹介、全国から集う若者たちと「夢」を語り合う懇親会など盛りだくさん!  
対象 18歳以上の人 参加費 8,000円 ※宿泊・食費・移動費込み  
定員 80人 ※先着順。要申込(詳しくは問い合わせ先へ)  
主催 第3回青年里山フォーラム2011実行委員会  
☎NPO法人赤目の里山を育てる会 ☎64-0051

緊急雇用創出事業 市の臨時職員を募集

職種 観光推進、市史資料整理、日曜日(は除く)に、ハローワーク伊賀(伊賀市四十九町)または名張パートバンク(丸之内/総合福祉センター内)で紹介を受けて必要書類を市役所へ提出採用 4月1日採用予定  
申込 2月28日(木)から3月11日(金) 午後5時15分まで(土・日)

名張市「新しい公」委託事業

「ゆるやかに自分と付き合う」～ここからだの自己ケア～

☎NPO法人女性と子どものヘルプライン・MIE ☎090-9223-3351  
人にぐざりと刺さることを言われたら、あなたは何かと答えますか? 自分の感情を抑えずに、相手にも受け入れられる対応をするために、自分を大切に「自尊心」と「境界線」が大切なんです。

▼「境界線」とは ぐまず、自分自身の「境界線」を学んでみましょう

日時 3月9日(火) 午前10時～正午  
講師 渥美美穂子さん(三重カウンスリングセンター理事)

▼「心のケアとヨガ」 <「こころ」の声は「からだ」から発せられます>

日時 3月16日(水) 午前10時～正午  
講師 堀口富美子さん(ヨガ講師)

場所 市民情報交流センター(希中央) 対象 市内在住・在勤の女性  
定員 30人 ※先着順 参加費 無料 申込 電話などで問い合わせ先へ

国津の社の行事

木工教室 ウェルカムボードを作ります  
日時 3月18日(金) 午前9時30分～正午  
講師 長谷川 重峰さん  
参加費 1,500円 定員 10人 申込 2月28日(木)から3月7日(木)までに、電話で問い合わせ先へ ※先着順。参加者が少ない場合は中止

電源立地地域対策交付金事業(水力枠)

☎維持管理室 ☎63-7681

市は、平成22年度に経済産業省の「電源立地地域対策交付金事業」で、桔梗が丘3番町地内などの幹線道路の舗装補修工事を行いました。

※「電源立地地域対策交付金」とは、発電用施設設置への理解促進を図ることなどを目的に国から交付される交付金。名張市の対象地域は市全域。対象施設は青蓮寺発電所

3月の献血 地域医療室 ☎63-6970

▼日時 3月9日(火) 午後2時～4時 場所 リバーナ(元町)  
▼日時 3月30日(水) 午前9時30分～正午 場所 市役所

次号  
4月  
9月  
ごみ収集日程表

抜き取り忘れのないよう  
ご注意ください

### 子ども支援センター かがやき催物

**開館時間** 午前9時30分～午後5時  
 ※日・月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは翌日休館)、年末年始は休館  
**▼「はじめて広場」…3月11日** 午前10時30分～  
 ☆「かがやき」を利用したことがない人は、気軽にご参加ください。  
**▼親子で遊ぼう** ☆企画バママによる「リトミック」(親子で体を動かそう/定員25組。先着順)…3月8日 午前10時45分～

**間** 子ども支援センターかがやき (桔梗が丘西3) ☎67-0250



かがやき  
森本 一叶くん (赤目町新川)

### リバーナホール催物

[ジャスコ新名張店3階] **3月**  
**間** 商工観光室 ☎63-7648

**■防火ポスター入選作品展示会**  
 日時 3月4日(金)～7日(月) 午前10時～午後6時 (初日は11時から最終日は1時まで)  
 主催 名張市防火協会・名張市消防本部

**■絵手紙教室合同作品展**  
 日時 3月11日(金)～13日(日) 午前10時～午後6時 (初日は正午から最終日は5時まで)  
 主催 蔵持公民館絵手紙教室

**■中判の銀塩写真展**  
 日時 3月19日(土)～21日(月) 午前10時～午後6時 (最終日は5時まで)  
 主催 光彩なぼり

**■第3回油絵作品展**  
 日時 3月25日(金)～27日(日) 午前10時～午後5時 (最終日は4時まで)  
 主催 油絵を親しむ仲間

### なせ宿 催し

**間** 旧細川邸 やなせ宿 ☎62-7760

**☆やなせ宿ひな祭りライブ**  
 日時 3月6日(日) 午後1時30分～午後3時30分 出演 室生音楽の森 Friends  
 入場無料。申込不要

## NPOのための広報スキルアップセミナー 伝わらないと「もったいない」

なぼりNPOセンターが主催の「伝えるコツ」を身に付けよう NPOのための広報スキルアップセミナーが、2月6日、市民情報交流センターで開催され、21人が参加。広報の技術や考え方についての講義や、参加者が持ち寄った広報紙について意見交換がなされました。講師の笑吉威さん(市民活動センター神戸理事)は、「すごくいい活動をしているのに知られていない団体も多い。実にもったいないと感じます。支援を得たり、仲間を募ったりするためにも、広報を大切にしてほしい」と訴えました。



まちの話題

こうすると伝わるのでは?

参加者の一人、吉田薫さん(NPO法人赤目の里山を育てる会)は「わたしたちの発行物は、活動内容を伝える記事が中心でしたが、『市民の皆さんと一緒にこんなことをしたい』というメッセージもしっかり盛り込みたい。広報の新しい可能性を感じました」と話してくれました。



まだまだ寒さが残り、家庭や職場で暖房器具など火を使用する機会が多く、また、空気が乾燥し、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。

### 住宅防火いのちを守る7つのポイント

- 3つの習慣**
- ①寝たばこは、絶対しない
  - ②ストーブは、燃えやすいものから離して使用する
  - ③ガスこんろなどから離れるときは、必ず火を消す
- 4つの対策**
- ①逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する
  - ②寝具やカーテンなどからの火災を防ぐため、防災製品を使用する
  - ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
  - ④地域ぐるみで防火協力体制をつくる

### 3月1日(火)～7日(日) 春の火災予防運動

**間** 消防本部 予防室 ☎63-1412



### 防火ポスター入賞作品を展示

▼リバーナホール…3月4日(金)～7日(月) 午前10時～午後6時 (初日は11時から最終日は1時まで)  
 ▼図書館…3月8日(火)～27日(日) 午前9時30分～午後7時 ※月曜日(祝日の場合は翌日) 休館

### 赤目四十八鐘キャンプ場

**自然素材空間 ちよいまる 情報** ☎63-9666 (キャンプ場)

**人気の体験メニュー 随時受付中**

**バウムクーヘン作り [要予約]**  
 ▼3月26日(日)は、バウムクーヘン特別メニューの日

**石窯ピザづくり [要予約]**  
 ▼3月19日(日)は、石窯ピザ特別メニューの日

よし笛カフェ石窯ディナーコンサート [要予約]  
 日時 3月26日(日) 午後6時30分～  
 石窯ピザ、石窯パン、手作りアイスクリームなど 定員 8人 参加費 1,500円

3月1日～7日は建築物防災週間です  
**間** 建築開発室 ☎63-7698

<切り取り線>

## 伊賀地域救急輪番表 3月

**間** 健康福祉政策室 ☎63-7579

**実施時間帯**  
 平日 午後5時～翌日午前8時45分  
 土・日曜日、祝日 午前8時45分～翌日午前8時45分  
 ※平日昼間(午前8時45分～午後5時)は、名張市立病院で二次救急を実施

日	月	火	水	木	金	土
		1名	2上	3名	4岡	5上
6岡	7名	8名	9岡	10名	11上	12名
13名	14上	15名	16上	17名	18岡	19上
20岡	21名	22名	23岡	24名	25上	26名
27名	28岡	29名	30上	31名		

- 受け入れ対象は、重症患者です**  
 ◎非当番日は、救急受け入れを行いません。
- 名張市立病院 ☎61-1100**  
 ◆救急車での搬送以外は、必ず事前にご連絡ください。
- 上野総合市民病院 ☎24-1111**  
 ◆開業医または応急診療所の紹介、救急車での搬送のみ受け入れ。内科系救急患者で、入院が必要と判断された場合、伊賀地域外の二次救急病院へ搬送。
- 岡波総合病院 ☎21-3135**  
 ◆救急車での搬送以外は、必ず事前にご連絡ください。
- 救急医療情報センター ☎64-1199**  
 24時間体制で受診可能な医療機関を紹介  
 音声・ファクス案内は…0800-100-1199 (無料)  
 I P電話などは…☎082-250-5620 (有料)

## 名張市立病院小児科二次救急医療体制

時間	曜日	日	月	火	水	木	金	土
時間内		△	○	○	○	○	○	△
時間外		△	△	○	×	○	×	△

時間内…午前8時45分～午後5時  
 時間外…午後5時～翌日午前8時45分  
 △は、伊賀地域救急輪番表の名張市立病院当番日に実施。市立病院受入日以外は、救急医療情報センターへお問い合わせください。

### みえ子ども医療ダイヤル

**☎# 8000**

子どもの急な病気やケガなどについての、小児科医師による電話無料相談  
 I P電話などは…☎059-232-9955  
 【受付時間】 午後7時30分～11時30分  
 ☆毎日実施

【小児科以外の診療科】

救急車の適正利用をお願いします。  
 症状が軽いとき、自分で病院に行けるときなどは利用をお控えください。